

やつおもて

2022

No.37 (10月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター

協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員

電話: 45-1918

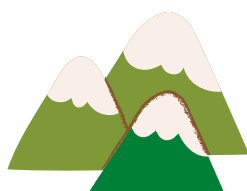
E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

ゆ～や～け

こ～やけで

ひ～がくて～



や～まの～

おてらの～



つぬです!

神在月です。色付いた落葉樹の葉やきれいな山々の景色を眺めながら歩いてみるのもいい季節ですね。(つぬ)

小学生人権標語テスト入選作品

勇気はね 仲間をすくう 第一歩

『和田地区の歴史コーナー』

和田地区のお寺紹介(廃寺)⑥

【東向寺(和田)】

元禄3丙子年3月との記録もあるが、丙子は元禄9年で3年は庚午であるからどちらが正しいのか不明である。恵通の開基という。また谷尾茂右衛門の建立ともいう。1892年(明治25年)までは和田八幡宮の西下、屋号清水屋の地にあった。4間半4面草葺きの本堂が東向きに建てられており、廊下で庫裏をつないでいたという。足洗池が寺の前にあった。明治25年再建の話しが持ちあがり、現在の和田郵便局の上ミ西川

西川氏が寄進した寺地の現在の風景



運送店のその西川氏が寄進した寺地に31年になって、寺が再建された。大工棟梁は山本惣五郎、6間4面の本堂であった。丸原覚善寺の14世住職龍山旭忍は覚善寺を実弟心梁に譲り、25年8月東向寺住職として移住し、再建に努力したのである(旭町誌上巻より抜粋)

次回へ続く



！前回のお話しは…

喜一郎は食事中も築造の事で頭をいっぱいにしていて。ミネはその様子を見ながら「もっと味わって食べて欲しいのに」と悲しい目をしてみている。そして、ある決心をして行動に移した…というところでしたね。では、続きをどうぞ！



！ミネの実家

ミネの気持ちも分かっていたから怒る気にはならなかった。ミネの実家は今の金城町宇栗で今市から金城に抜ける森谷トンネルの上の向こう側で、その昔トンネルの上を「宇栗峠」といった。その峠を下った最初の家がミネの実家だった。

文・絵 佐々岡健次

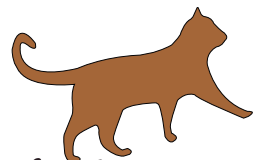
！険しい道…

翌日飯も食わず陽の出る前に下和田を出た喜一郎は加古屋城跡をかすめ「夜泣石」を下り満福寺を過ぎ今市へ。そして小谷城へかかる。そこからの宇栗峠への登りは往来が少なく所々灌木の枝木が行方を邪魔した。腰にした鎌で払っては峠をめざす。七曲りのしわい急坂も喜一郎にとったら、たいした苦ではないのだが…。

！反省の気持ち

実家へ行って又「ことわり」を云わにやらんと思うと気が重い。ミネよわしをこがめに困らせてからになにが面白いんだ。…うんにゃ！！面白くないからわしを困らせているんじゃないか…わしが悪いんじゃないわしが！わしがちいともかもうてやらんからじゃろ。自問自答しながら、にが笑う喜一郎。やっと峠を登り切った。

次回もお楽しみに！



長男が中学生になりました！

皆さま、こんにちは。長かった夏も終わりと、バラエティ豊かな経験を持つ多くの先生から教えてもらえますし、何か問題にぶつかった時、個別に相談に乗ってもらえるため、クラスメイトから置いてきぼりになる心配はありません。また、一貫教育なため、高校受験の心配をしなくて良いのも利点です。

さて、アメリカの子どもたちは、8月から新学期が始まります。こちらの小学校は、一年生から五年生までの5年間になります。ということで、我が家の長男ジャメインは、晴れて中学一年生（六年生）となりました。

もちろん、私立の学校は学費も高く、経済的な負担はあります。しかし、長男の長い人生を考えた時、こちらの学校で学ぶことは彼の個性を伸ばし、可能性を広げるためには意味のある、価値のあることなんじゃないかな？と思っています。

こちらでは、中学校へ上がるにあたり地域の公立の中学校へ行くか？私立へ行くか？の選択肢があります。我が家は、家族でたくさん話し合った結果、車で家から10分で通えるクリスチャンの私立中学校への進学を決めました。この理由は、私立の学校ですと少人数制（長男の学年は1クラス15人）で先生方から丁寧できめ細かい指導を受けられるということでした。公立学校は、大人数の生徒がいる中教科書基本の最低限な教育を受けることがほとんどです。しかし、私立学校です



ジャメイン君の学校には、制服があり、グレー、紺色緑のポロシャツにカーキパンツの装いで学校へ行きます



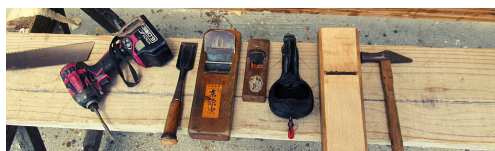
さて、新しい中学校では、新しい環境、友達や先生と馴染むまで時間がかかるかな？とかなり心配したのですが…さすがに12歳。あっという間に友達もでき、毎朝早く学校へ行きたい！と親を急かすほど（笑）喜んで登校しています。これから高校卒業までの6年間、クラスメイトや先生方とたくさんの楽しい思い出を作り青春を謳歌してもらいたいと願っています。

文・写真 教子ウィムセット

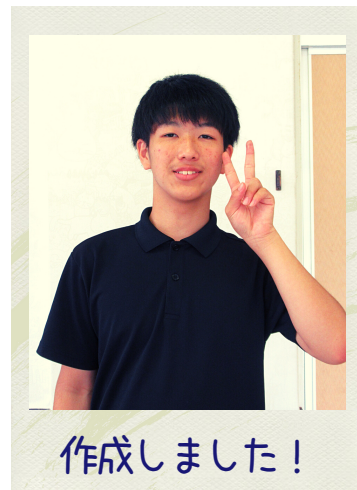


事業所紹介

岩谷住建（和田）



今年は、僕たちが



作成しました！



8月8日（月）はまだっ子共育推進事業「第7回 和田地区の事業所紹介を作成しよう！」を地区内の中学3年生 2名と一緒にを行いました。

今回は岩谷住建（岩谷和文さん）にお願いし、快くご協力いただきました。岩谷さんの修業時代の事や「仕事に対する思い」など子ども達の質問にも丁寧に答えて下さいました。また、墨壺を使い一瞬で直線を引いたりカンナかけなど貴重な体験をさせていただきました。

出来上がった作品は全地域に配布されます。楽しみにお待ち下さい！